

同 志 社 大 学

2009 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2010 年 3 月 15 日提出

所 属	職 名	氏 名
文学部	教授	圓月 勝博
研 究 題 目	十七世紀イギリス文学における礼節と社交性の概念	
研 究 成 果 の 概 要	<p>2009 年 9 月に拙論「王政復古演劇批評」を収録した『イギリス王政復古演劇案内』（松柏社）より出版された。2009 年 12 月には拙訳「ミルトン伝」を収録したサミュエル・ジョンソン『イギリス詩人伝』（筑摩書房）が出版された。さらに、拙論「先行詩人の影響」を『T・S・エリオット・コンパニオン（仮題）』（研究社）に寄稿した。出版は来年度の予定である。今後の出版予定としては、『王政復古演劇集（仮題）』の企画も進んでおり、その準備を行なっている。</p> <p>2009 年 7 月には『WEB 英語青年』に小野功生『ミルトンと十七世紀イギリスの言説圏』（彩流社）の書評が掲載された。</p> <p>2009 年 12 月に東京で開催されたスチュアート研究会において、「グリーンブラットは妻を、読め」を口頭発表した。さらに、来年度は日本英文学会と日本シェイクスピア学会のシンポジウムにおける発表も決定しており、その準備のためそれぞれのワークショップも積極的に行なった。</p>	